

乗って、楽しむ、おでかけガイド

# 西Navi

# 北陸

北陸新幹線

4  
2021



特集

福井の酒とつまみ



- 02-04 福井の酒とつまみ
- 05 名作の舞台へ サクラサク
- 06 食べたい買いたい わざわざグルメ  
山法師の大判焼

北陸エリアの観光スポットやイベント情報が充実!

関西・北陸・せとうちエリアの  
おでかけ&観光情報

## マイ♥フェバ



ウェブサイトでも  
アプリでも!

マイフェバ

検索



## 瑞林寺

永享2年(1430)に創建された曹洞宗の寺。若狭三十三観音霊場の五番札所にあたる。さだの美父が幼少の頃住んでいた思い出の場所であり、映画でも俊太郎が「離れて住んでいた寺」として登場し、家族が一つになるクライマックスシーンのロケ地となった。物語の鍵となる「子ども歌舞伎」が上演される場所でもある。

▲美浜町早瀬20-24 ☎0770-32-1038  
◎参拝自由 ◎美浜駅からバス約20分、「早瀬」バス下車、徒歩約5分

参道脇には、俊太郎が幼い頃親しんだ地蔵がたずむ。寺の南側にある小高い丘には、映画のラストシーンで撮影されたソメイヨシノの一本桜が植えられており、4月上旬見頃に、「一本桜の丘」として整備され早瀬の町並みと海を一望できる。



## ～福井のあの地も舞台に～

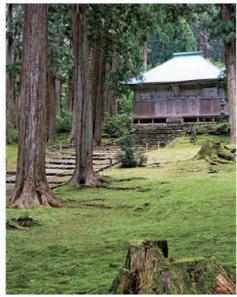
### 特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡

朝倉氏が戦国時代に103年間にわたり越前国を支配した城下町跡で、国の重要文化財。当時の町並みがほぼ完全な姿で発掘され、現在は栄華を極めた町の姿が再現されている。映画では花嫁行列の様子を撮影。▲福井市城戸ノ内町 ☎0776-41-2330 (朝倉氏遺跡保存協会) ◎見学自由、復原町並は9:00～17:00(入場は16:30まで) 年末年始休 ◎復原町並入場料=大人290円(一乗谷朝倉氏遺跡資料館との共通券320円)、中学生以下・70歳以上無料 ※2021年4/1～の入場料 ◎一乗谷駅下車、徒歩約25分。または福井駅から一乗谷朝倉特急バス約25分、「復原町並」バス下車、徒歩すぐ



### 平泉寺白山神社

白山の越前側登拝口に、白山信仰の拠点として養老元年(717)に開山。境内一面に美しい苔の緑が広がり、「苔宮」とも呼ばれる。作中では、祭りばやしに誘われて、俊太郎が篠笛の演奏を披露するシーンで登場。▲勝山市平泉寺町平泉寺 ☎0779-88-8117 (勝山市商工観光・ふるさと創生課) ◎参拝自由 ※白山平泉寺歴史探遊館まはらは9:00～17:00(入館は16:30まで)、年末年始休、入館無料 ◎旧玄成院庭園入園料=50円 ◎福井駅からえちぜん鉄道、「勝山」駅からバス約15分、「平泉寺神社前」バス下車、徒歩すぐ



さだまさしの同名小説を原作とした、家族の再生を描くロードムービー『サクラサク』。認知症を発症し始めた父の「家族で一緒に暮らしたのはあの敦賀の海のそばのお寺さんだけです。春、桜の花が満開で美しかった」というつぶやきを手掛かりに、家族は福井へ向かう。物語の終盤には、かつて敦賀と呼ばれた福井県美浜町が登場。美浜町は、さだの美父がロシアから引き揚げて家族と時期暮らしていた場所。物語は当時の記憶を元に作られた。作品は、小説に感銘を受けた福井県在住の読者が発起人となり、県内各自治体や企業を巻き込んで映画化が実現したというだけあって、福井の美しい風景が多数登場。家族を優しく包み込むように描かれた三方五湖と若狭湾に挟まれた風光明媚な町並みを体感して。

# 『サクラサク』 家族の絆を紡ぐ ロードムービー 福井・美浜町ほか



## 『サクラサク』

家庭を顧みず仕事に没頭していた大崎俊介(緒形直人)は、父・俊太郎(藤竜也)の認知症発症をきっかけに家庭が崩壊寸前だったことに気づく。家族の絆を取り戻すため、父が幼い頃に両親と過ごした思い出の場所・福井県へ、家族とともに旅に出る。DVD5,170円で発売中。



## 日向地区

三方五湖の一つ・日向湖と若狭湾をつなぐ場所に位置する漁師町。運河を中心に湖岸に細長く広がる地形に、家屋や宿が続き、昔ながらの町並みが残る。映画では家族が路地をめぐりながら瑞林寺を探すシーンなどが描かれた。

☎0770-32-6705(美浜町観光戦略課) ◎散策自由 ◎美浜駅からバス約20分、「日向」バス下車、徒歩すぐ



## 早瀬漁港

若狭湾と三方五湖の一つ・久々子湖を結ぶ早瀬運河の河口部にある漁港。河口近くに架かる高さ約4mの橋では、冷え切った夫婦関係となっていた妻の昭子と和解するために、俊介が運河に飛び込む印象的なシーンが撮影された。

☎0770-32-6705(美浜町観光戦略課) ◎散策自由 ◎美浜駅からバス約20分、「早瀬」バス下車、徒歩すぐ



## 早瀬子ども歌舞伎

5/3 ※今年は中止  
早瀬地区で150年以上続く伝統行事。江戸時代、疫病がはやりた際に子ども歌舞伎を奉納したところその病が鎮まったという由来がある。日吉神社の参道に据えられた山車の舞台上、あでやかな衣装をまとった小学4・5年生の男子が「寿式三番叟」を舞う。▲美浜町早瀬 日吉神社、瑞林寺など ☎0770-32-6705(美浜町観光戦略課)

